平成２３年度第３回京田辺市中学校昼食等検討委員会　会議録

開催日時　平成２４年２月１３日（月）午後２時００分から午後３時４５分
開催場所　京田辺市役所　２０３会議室
出席者　京田辺市中学校昼食等検討委員会
教育部長・京田辺市小・中学校長会代表（大住中校長）
京田辺市小学校栄養教諭代表（田辺東小学校栄養教諭）
市立中学校教諭代表（田辺中学校･培良中学校）
市立中学校ＰＴＡ代表（田辺中学校･大住中学校・培良中学校）

欠　席　京田辺市小・中学校教頭会代表（培良中教頭）
市立中学校教諭代表　（大住中学校）
京田辺市ＰＴＡ連絡協議会代表

事務局　本日予定の委員の皆様がお揃いになりましたので、これから京田辺市中学校昼食等検討委員会第３回目を開催いたします。本会議の開催が遅くなりましたことをお詫びいたします。
過日実施いたしました中学生・食生活実態アンケートの結果について、報告させていただきます。なお、本委員会の進行は委員長が行うことになっていますので、今後の進行を委員長よろしくお願いします。

委員長　それでは、改めましてご苦労様です。中学校昼食等の検討委員会を始めてまいりたいと思います。
本日の会議が前回の１１月からかなり経過しており、ご迷惑をおかけしまして申し訳ございません。
過日実施しました、中学生・食生活実態アンケートについて結果の報告をお願いします。

事務局　中学生・食生活実態アンケートの結果について、概略がまとまりましたので報告させていただきます。このアンケート結果を参考にしながら、今後論議を進めてまいりたいと考えております。
まずアンケート実施の状況について説明させていただきます。
本アンケートは平成２４年１月２７日に各中学校に配付し、中学校の１年生と２年生の生徒及び保護者を対象に、１月３０日から２月２日の４日間で行い、アンケートの回収状況は、回収状況

調べ(資料 第３回 ①)のとおり生徒が８７．９％､保護者が７２．６％となりました。
それでは、まず保護者の結果（資料 第 3 回 ②）から報告させていただきます。

1　中学生の昼食について

１週間に何回家庭弁当を持たせているかとの問いに対しては、ほぼ毎日持たせているが８１５人９８％で、ほとんど持たせていない、持たせていないが６人で０．７２％となっており、京田辺市では家庭弁当が中学生の昼食となっています。

お弁当を作る時には、栄養のバランス、おいしさ、衛生や安全面、そして分量に特に注意を払って作られているようです。

家庭で弁当が作れない場合は、事前に購入する、子どもに購入させるが半々となっています。購入費用は、５００円までが全体の９６％となっています。購入する内容は、パンやおにぎりとなっており、保護者の意見の中には、パン・おにぎり限定で、なぜ市販のお弁当ではだめなのかとの意見がでています。

主な購入先はコンビニが大半で、家庭弁当をつくるのはほとんど母親で、父親や本人がつくっているケースも見受けられます。

2　家庭と学校の役割について

項目の①食事の楽しさを教える③望ましい食習慣を身につけさせる。④食事のマナーを身につけさせる。の３項目は、家庭の役割とする意見が多く、それ以外の項目については、家庭及び学校の役割とする意見が多数を占めています。

3　中学校での望ましい昼食について

現在の家庭弁当については、⑦弁当は夏は腐りやすくて心配である。⑧栄養バランスのとれた弁当作りが大変である。②内容や分量が調節できる。続いて⑥弁当づくりが親の負担になっているとなっています。

中学生の昼食については、小学校のような給食が望ましいが５５０人で６７．４８％、家庭弁当を基本とし、弁当を持参できない場合は前もって注文する弁当との選択性を選択された方が１９．８７％､現在の家庭弁当が望ましいが１２．６３％となりました。

各項目を選択された主な理由については、別紙をご覧ください。

①家庭弁当を選択した理由としては、親子のコミュニケーションが図れる、食事の量等個人差がある、親の手抜きという理由だけで給食というのは良くないなどがありました。

②を選択された理由として、コンビニなどが通学路にないため、事前購入しておく必要がある。弁当が作れないとき、注文できる制度があれば良い。給食が望ましいが、予算上困難な場合は弁当を注文できるようにしてほしい。家庭弁当を持参できない場合は、パンとおにぎりを購入すると決まっているので、弁当を購入できたら良い。などがありました。

③を選択された理由は、栄養バランスが良く、弁当では対応できない。親の負担が減る。義務教育では給食は当然実施されるべきである。弁当を作れない時や、作ってもらえない家庭があることから給食を実施してほしい。などがありました。

購買部や売店の設置、昼食時間の延長、夏場のみでも給食をしてほしい。保護者の意見としては、このような結果となりました。

続いて生徒のアンケート（資料 第３回 ③）について、説明します。

１　日頃の食生活について

朝食ついては、ほとんどの生徒が朝食を食べ、４３人（４％）がほとんど食べないとなっています。

朝食の種類は５６％が主食、おかず、飲み物と好ましい取り方をしており、主食のみというのは４０％となっています。

食べない理由としては、食べる時間がないが４８％、続いて食欲がない３２％となっています。

食事の時の相手は、朝食は一人で食べるが４５％最も多く、夕食は大人と一緒に食べるが５０％となっています。

２　食生活と食習慣について

間食は毎日食べるが４２％、週に２～３回食べるが４７％と間食をしている生徒が多くなっています。

食事の時に注意を受けることについては、食べるときの姿勢や箸や食器の持ち方、好き嫌いとなっていますが、特に注意されることがないは１５％です。

食事を楽しいと感じることについては、好きなものを食べるとき、外食するとき、友達と食べる時の順になっています。

好き嫌いについては８１％がある、又少しあると回答し、うち１８％が嫌いなものは、食べないと答えています。

３　中学校での昼食について

毎日持参が８１％、週に４日が１５％で９６％が持参している。全く持って来ないのは、９人（１％）。持参できない理由は毎日弁当では飽きる、つくってもらえないという順になっています。

弁当持参できない場合は、市販のパンやおにぎりが８６％。その理由には、学校での指導でパンかおにぎりになっているから等の意見がありました。購入先はコンビニが８３％と圧倒的に多く、手軽さ便利さによるものと思われます。金額は、５００円までが７０％を占めています。

弁当を作るのは母親が９１％で、父親や本人がつくっているケースも見受けられます。

４　家庭弁当や学校給食については

家庭弁当はおいしいが２９％､自分の好きなものが食べられる１９％､味や分量が調整できるが１５％。

学校給食では、給食当番をするのが面倒が２２％、おいしいが２０％、献立が豊富で栄養バランスがよいが１６％、配膳・後片付け等で昼食に時間がかかるが１６％となっています。

５　中学校での望ましい昼食については

現在の家庭弁当が良いが６４％、家庭弁当が持参できない場合は注文した弁当を食べるが１９％、給食が１７％の結果となりました。先ほどの保護者と比べると、全く逆に家庭弁当が一番望ましい結果となっています。

給食に関する意見については、資料のとおりです。

多くの意見として、昼食時間が短いので長くしてほしい。今のままで良いとか、購買部や売店がほしい等の意見がありました。保護者及び生徒の意見は、保護者は給食が、生徒は現在の家庭弁当が中学校における望ましい昼食と考えているような結果となりました。

以上、簡単ですがアンケート結果についての報告とさせていただきます。

委員長　　前回の結果と、給食を食べたい人と食べたくないとの比率がかなり変わってきたようですが、どうですか。

事務局　　実施時期は、平成１９年度で生徒のみを対象としていました。給食を食べたい生徒が４６％、食べたくない５３％で均衡した結果となっています。今回給食を希望する生徒は、１７％に減っています。

委員長　　アンケートの結果について説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

委員　　この結果をどのように受けとめられるのか、生徒と保護者と意見が全く異なっているのをどう考えておられますか。

事務局　　確かに生徒と保護者の意見が全く違いますが、たとえば保護者では給食の希望の方で、給食は栄養バランスが良いからという理由で一番多いですが、生徒側のアンケート結果では食べ物に好き嫌いがあり、嫌いな物は食べないと回答している生徒が結構います。給食は栄養のバランスが良く好ましいのは間違いないですが、それも食べてくれなければ意味がありません。子ども達にとって一番望ましいのは何かを重視して、子ども達の意見や保護者の意見を整理していこうと思っています。

委員長　　給食を望んでいる保護者の一番の理由はなんですか。

事務局　　一番多いのは、給食は栄養のバランスが良いとなっています。

委員長　　一番は栄養のバランスが良いからですか。その他の理由はどうですか。

事務局　　親の負担が減るが次いで多いです。

委員長　　ＰＴＡ代表の委員の方ご意見はございますか。

委員　　給食というイメージを保護者は、小学校のような給食なのか、弁当みたいなものも想定されているのか、どちらでしょうか。

事務局　　京田辺市では、小学校給食は自校調理方式で実施していますので、同様のイメージで回答されたと思っています。センター方式等がありますが、配缶形式をイメージされていると思います。

副委員長　　設問が多伎にわたっているため、なかなか分析は難しいです。

委員長　　ここで直ぐに意見を発表していただくのは難しいですので、持ち帰って検討してもらい、当初の委員会で説明した課題等とアンケート結果も参考にしながら、今後委員会で検討・議論して参りたいと考えてます。
　ご意見はございますか。

委員　　ホームページには掲載するのですか。

委員長　　すぐではありませんが、整理した上で掲載したいと思っています。保護者、生徒の意見も載せていきたいと思います。
　ＰＴＡの委員の方、保護者と生徒の意見が異なっていることについては、いかかでしょうか。

委員　　親と子どもの考えは、想像どおりの結果でした。お弁当にはきらいなものを入れないので、子どもは好きなものを食べられて良いと思っているのでは。

委員　　冬場の弁当は、保温型の弁当箱に入れているが、夏場は心配です。

委員長　　夏場が腐りやすくて心配されているが、来年度に冷房をいれるので、少しはそのあたりの不安が解消できるのではと思っております。

委員　　夏場は保冷剤を沢山入れていても心配です。

委員　　近隣でのアンケート結果はどうですか。

事務局　　アンケートを実施するとだいたい他でも同じような結果となっています。

委員長　　お母さんのお弁当が良いのですね。お母さんに有り難うとは口には出しませんが感謝しているものと思います。

委員　　感謝の気持ちがあることは、いいことですね。

事務局　　特に意見として大きなものは、保護者や生徒から昼食時間が短いので、急いで食べると消化に悪い等の意見もあり、昼食時間を長くしてほしいとの意見が非常に多く、給食になれば今以上に時間がかかると思っています。

特に夏場の心配な面についてもエアコンを付けることにより、軽減できるものと考えていますが、生徒達が安全に昼食を食べられる環境を整える必要があり、今回のエアコン設置で対応できるのではないかと考えています。

時間の問題は非常に大きな問題で、教育課程にもかかわることとなります。

その他の意見としては、昔あった購買部や売店の設置を希望されています。残食の課題、給食はカロリー重視で、量が少ないなどの意見がでています。

委員長　　学校では、弁当の代わりはパンかおにぎりしかだめなんですかね。

委員　　弁当は不可ですね。ゴミの問題もあります。

副委員長　　あらかじめ事前に購入したもので、登校途中での購入は認めていません。

各校とも、１３時２５分までが昼休みとなっており、昼食の前５分と食後に２０分の時間があります。昼食時間を延ばすと全体の時間が後ろになってしまいます。

委員　　男子は早く食べて待っている状態で、また教室の移動が多いので忙しいこともあります。

委員長　　食べたらすぐには､教室から出られないのですか。

委員　　昼食時間は、教室に居るようにさせています。落ち着きませんから。男子は辛いが、女子はゆっくり食べていられます。

委員　　給食で残飯がでるのは心配ですね。
　食べられない理由が教室の移動に時間が必要と言うことなので、昼食時間を２０分くらいにしてもらえたら、何とかなると言っています。

委員長　　弁当で時間が足りない状況では、給食だともっと時間がかかりますからね。

事務局　　親のニーズとは逆に、子どもは弁当を期待しているので、子ども達にとってどうなのか、食育の観点からもどうするのかが今後の検討課題と考えます。

委員長　　栄養のバランスはどうか。昼食だけで解決できるのか。親の負担の軽減策としては。給食なのか選択式なのか。小学校のような給食を踏襲するのか。次回は課題を洗いだし、検討したい。
　方向性が出てもすぐに実施することは難しいと思われるが。

事務局　　昼食は時間になれば生徒は食べられるのでしょうか。先生が来られてそろってから食べるのでしょうか。

委員　　基本は、先生が来て、全員がそろってから食べています。生徒は、先生がくるまで待っている状況です。教師が先に食べておいてよ、と思うときでも待っています。

事務局　　きちんとルールが確立できています。

委員長　　昼食時の様子はどうでしょうか。

委員　　生徒同士で交換して楽しく食べているみたいです。味が違うなど交流しているようです。

事務局　　生徒の意見では、食事や昼食時間は楽しく食べたい、おしゃべりしたい、友達とたべることが楽しみとの回答もあり、生徒のリフレッシュタイムであり、交流の時間でもあり、とても大事な時間だと思っています。やはり生徒にとって有意義な昼食時間を過ごせるよ

うにしていければ良いと思っております。

事務局　　お弁当を選んだ理由は、給食が嫌いではなく栄養のバランスが必要であるとも認識されています。

委員　　フルタイムの保護者から、給食を期待されている声も聴いています。他市町村で実施されているから、実施してほしいという意見でした。

事務局　　その理由はなんですか

委員　　作る時間がないと聞いています。作るのが大変だから。

事務局　　時間がないから給食をという保護者の意見が多いようです。作る時間があっても作らないのではなく、全く時間がとれないからですね。

委員　　嫌いなものは入れにくいが、結果を見て親として弁当を期待されているのがわかって嬉しかったです。
　中学生になったら、給食から解放されると喜んでいる児童もいます。

事務局　　子どもは親の弁当を期待している事が分かりますね。

委員　　昔はコンビニもないし、母親の弁当だけでしたから。

事務局　　代替はパンとおにぎりだけですか。

副委員長　　コンビニなどの弁当は事前に購入して、弁当に詰め買えてもってくるように指導しています。

委員　　基本はパン・おにぎりですが、弁当を買ってくる生徒もあります。菓子パンではなく、サンドイッチなどにするように、指導していますが。

委員　　おにぎり・パンは腐りませんから。

委員長　　委員の皆様には結果をみてもらって、次回の委員会で意見交換をしたいので、よろしくお願いします。

委員　　この委員会はいつまで続きますか、引継ぎの関係で１４日までに会議を開いて頂ければ出席できるので良いのですが、それ以降になりますと引継ぐ必要がありますので、よろしくお願いします。

委員長　　なんとか､年度内にまとめられればと考えています。

事務局　　できるだけ早期の開催を検討します。

委員長　　それでは、本日はこれで終了します。
　　みなさまご苦労様でした。